

日本語




**MEB-3810N
安全上のご注意**

安全にご使用していただくために

ミシン、自動機、付帯装置（以下機械と言う）は、縫製作業上やむをえず機械の可動部品の近くで作業するため、可動部に接触してしまう可能性が常に存在していますので、実際にご使用されるオペレータの方、および保守、修理などをされる保全の方は、事前に以下の「安全についての注意事項」を熟読されて、十分理解された上でご使用ください。この「安全についての注意事項」に書かれている内容は、お客様が購入された商品の仕様には含まれない項目も記載されています。

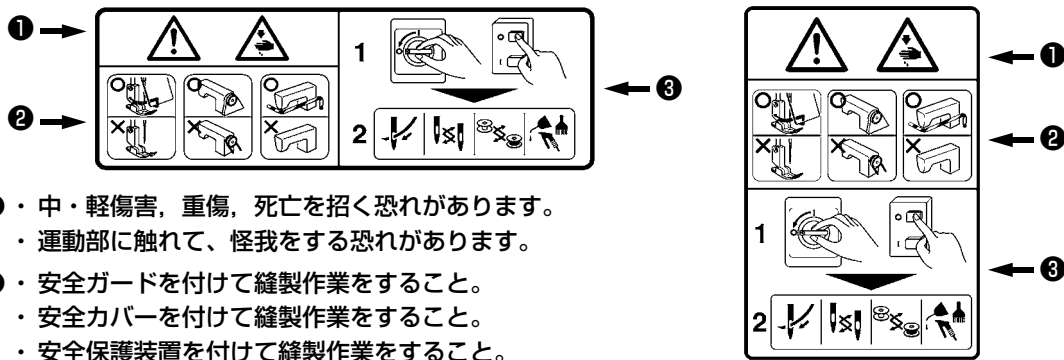
なお、取扱説明書および製品の警告ラベルを十分理解していただくために、警告表示を以下のように使い分けております。これらの内容を十分に理解し、指示を守ってください。

(I) 危険の水準の説明

 危険	機械操作時、保守時、当事者、第3者が取り扱いを誤ったり、その状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く差し迫った危険のあるところ。
 警告	機械操作時、保守時、当事者、第3者が取り扱いを誤ったり、その状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く潜在的可能性のあるところ。
 注意	機械操作時、保守時、当事者、第3者が取り扱いを誤ったり、その状況を回避しない場合、中・軽傷害を招く恐れのあるところ。

(II) 警告絵表示および表示ラベルの説明

警告絵表示		運動部に触れて、怪我をする恐れがあります。	警告絵表示		作業時にミシンを持つと、手を怪我する恐れがあります。
		高電圧部に触れて、感電の恐れがあります。			ベルトに巻き込まれ、怪我をする恐れがあります。
		高温部に触れて、ヤケドの恐れがあります。			ボタンキャリアに触れて、怪我をする恐れがあります。
		レーザー光を直接目視すると、目に障害を及ぼす恐れがあります。	指示ラベル		正しい回転方向を指示しています。
		ミシンと頭部が、接触する恐れがあります。			アース線の接続を指示しています。

警告ラベル	
	<p>① ・ 中・軽傷害、重傷、死亡を招く恐れがあります。 ・ 運動部に触れて、怪我をする恐れがあります。</p> <p>② ・ 安全ガードを付けて縫製作業をすること。 ・ 安全カバーを付けて縫製作業をすること。 ・ 安全保護装置を付けて縫製作業をすること。</p> <p>③ ・ 電源を切ってから、「糸通し」、「針の交換」、「ボビンの交換」、「給油や掃除」をすること。</p>

電撃危険ラベル		危険 高電圧部分に触れて、大けがをすることがある。 電源を切って、5分以上たってからカバーをはずすこと。	DANGER Hazardous voltage will cause injury. Turn off main switch and unplug power cord and wait at least 5 minutes before opening this cover.
---------	---	---	--

安全についての注意事項

事故とは：人身並びに財産に損害を与えることをいう。

危険

1. 感電事故防止のため、電装ボックスを開ける必要がある場合は、電源を切り、念のため5分以上経過してから蓋を開けてください。

注意

基本的注意事項

1. ご使用される前に、取扱説明書および付属に入っている全ての説明書類を必ずお読みください。また、いつでもすぐに読めるように、この取扱説明書を大切に保存してください。
2. 本項に書かれている内容は、購入された機械の仕様に含まれていない項目も記載されています。
3. 針折れによる事故防止のため、安全眼鏡を着用してください。
4. 心臓用ペースメーカーをお使いの方は、専門医師とよくご相談のうえお使いください。

安全装置・警告ラベル

1. 安全装置の欠落による事故防止のため、この機械を操作する際は、安全装置が所定の位置に正しく取り付けられ、正常に機能することを確認してから操作してください。安全装置については、「安全装置と警告ラベルについて」の頁を参照してください。
2. 人身事故防止のため、安全装置を外した場合は、必ず元の位置に取り付け、正常に機能することを確認してください。
3. 人身事故防止のため、機械に貼り付けてある警告ラベルは、常にはっきり見えるようにしておいてください。剥がれたり汚損した場合、新しいラベルと交換してください。

用途・改造

1. 人身事故防止のため、この機械は、本来の用途および取扱説明書に規定された使用方法以外には使用しないでください。用途以外の使用に対しては、当社は責任を負いません。
2. 人身事故防止のため、機械には改造などを加えないでください。改造によって起きた事故に対しては、当社は責任を負いません。

教育訓練

1. 不慣れによる事故防止のため、この機械の操作についての教育、並びに安全に作業を行うための教育を雇用者から受け、適性な知識と操作技能を有するオペレーターのみが、この機械をご使用ください。そのため雇用者は、事前にオペレーターの教育訓練の計画を立案し、実施することが必要です。

電源を切らなければならない事項

電源を切るとは：電源スイッチを切ってから、電源プラグをコンセントから抜くことを言う。以下同じ

1. 人身事故防止のため、異常、故障が認められた時、停電の時は、直ちに電源を切ってください。
2. 機械の不意の起動による事故防止のため、次のような時は必ず電源を切ってから行ってください。特にクラッチモーターを使用している場合は、電源を切った後、完全に止まっていることを確認してから作業を行ってください。
 - 2-1. たとえば、針、ルーパー、スプレッターなどの糸通し部品へ糸通しする時や、ボビンを交換する時。
 - 2-2. たとえば、機械を構成する全ての部品の交換、または調整する時。
 - 2-3. たとえば、点検、修理、清掃する時や、機械から離れる時。
3. 感電、漏電、火災事故防止のため、電源プラグを抜く時は、コードではなくプラグを持って抜いてください。
4. ミシンが作業の合間に放置されている時は、必ず電源を切ってください。
5. 電装部品損壊による事故を防ぐため、停電した時は必ず電源を切ってください。

各使用段階における注意事項

運 搬

1. 人身事故防止のため、機械の持ち上げ、移動は、機械質量を踏まえ安全を確保した方法で行ってください。なお機械質量については、取扱説明書本文をご確認ください。
2. 人身事故防止のため、持ち上げ、移動の際は、転倒、落下などを起こさないよう十分安全策をとってください。
3. 予期せぬ事故や落下事故、機械の破損防止のため、開梱した機械を再梱包して運搬することはおやめください。

開 梱

1. 人身事故防止のため、開梱は上から順序よく行ってください。木枠梱包の場合は、特に釘には十分注意してください。また、釘は板から抜き取ってください。
2. 人身事故防止のため、機械は重心位置を確かめて、慎重に取り出してください。

据え付け

(I) テーブル, 脚

1. 人身事故防止のため、テーブル, 脚は純正部品を使用してください。やむをえず非純正部品を使用する場合は、機械の重量, 運転時の反力に十分耐え得るテーブル, 脚を使用してください。
2. 人身事故防止のため、脚にキャスターを付ける場合は、十分な強度をもったロック付きキャスターを使用し、機械の操作中や保守, 点検, 修理の時に機械が動かないようにロックしてください。

(II) ケーブル, 配線

1. 感電, 漏電, 火災事故防止のため、ケーブルは使用中無理な力が加わらないようにしてください。また、Vベルトなどの運転部近くにケーブル配線する時は、30mm以上の間隔をとって配線してください。
2. 感電, 漏電, 火災事故防止のため、タコ足配線はしないでください。
3. 感電, 漏電, 火災事故防止のため、コネクタは確実に固定してください。また、コネクタを抜く時は、コネクタ部を持って抜いてください。

(III) 接地

1. 漏電, 絶縁耐圧による事故防止のため、電源プラグは電気専門知識を有する人に、適性なプラグを取り付けてもらってください。また電源プラグは、必ず接地されたコンセントに接続してください。
2. 漏電による事故防止のため、アース線は必ず接地してください。

(IV) モーター

1. 焼損による事故防止のため、モーターは指定された定格モーター（純正品）を使用してください。
2. 市販クラッチモーターを使用する際は、Vベルトへの巻き込まれ事故防止のため、巻き込み防止付きプーリーカバーが付いたクラッチモーターを選定してください。

操 作 前

1. 人身事故防止のため、電源を投入する前に、コネクタ, ケーブル類に損傷, 脱落, ゆるみがないことを確認してください。
2. 人身事故防止のため、運動部分に手を入れないでください。また、プーリーの回転方向が矢印と一致しているか、確認してください。
3. キャスター付き脚卓を使用の場合、不意の起動による事故防止のため、キャスターをロックするか、アジャスター付きの時は、アジャスターで脚を固定してください。

操 作 中

1. 巻き込みによる人身事故防止のため、機械操作中ははずみ車, 手元プーリー, モーターなどの動く部分に、指, 頭髪, 衣類を近づけたり物を置かないでください。
2. 人身事故防止のため、電源を入れる時、また機械操作中は、針の付近や天びんカバー内に指を入れないでください。
3. ミシンは高速で回転しています。手への損傷防止のため、操作中はルーパー, スプレッター, 針棒, 釜, 布切りメスなどの動く部分へ絶対に手を近づけないでください。また糸交換の時は、電源を切り、ミシンおよびモーターが完全に停止したことを確認してください。
4. 人身事故防止のため、機械をテーブルから外す時、また元の位置へ戻す時、指などはさまれないように注意してください。
5. 不意の起動による事故防止のため、ベルトカバーおよびVベルトを外す時は、電源を切り、ミシンおよびモーターが完全に停止したことを確認してください。

6. サーボモーターをご使用の場合は、機械停止中はモーター音がしません。不意の起動による事故防止のため、電源の切り忘れに注意してください。
7. 過熱による火災事故を防ぐため、モーター電源ボックスの冷却口をふさいで使用することはやめてください。

給油

1. 機械の給油箇所には、JUKI 純正オイル、JUKI 純正グリースを使用してください。
2. 炎症、カブレを防ぐため、目や身体に油が付着した時は、直ちに洗浄してください。
3. 下痢、嘔吐を防ぐため、誤って飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

保守

1. 不慣れによる事故防止のため、修理、調整は機械を熟知した保全技術者が取扱説明書の指示範囲で行ってください。また、部品交換の際は、当社純正部品を使ってください。不適切な修理、調整および非純正部品使用による事故に対しては、当社は責任を負いません。
2. 不慣れによる事故や感電事故防止のため、電気関係の修理、保全（含む配線）は、電気の専門知識の有る人、または当社、販売店の技術者に依頼してください。
3. 不意の起動による事故防止のため、エアシリンダーなどの空気圧を使用している機械の修理や保全を行う時は、空気の供給源のパイプを外し、残留している空気を放出してから行ってください。
4. 人身事故防止のため、修理調整、部品交換などの作業後は、ねじ、ナットなどがゆるんでいないことを確認してください。
5. 機械の使用期間中は、定期的に清掃を行ってください。この際、不意の起動による事故防止のため、必ず電源を切り、ミシンおよびモーターが完全に停止したことを確認してから行ってください。
6. 保守、点検、修理の作業の時は、必ず電源を切り、ミシンおよびモーターが完全に停止したことを確認してから行ってください。（クラッチモーターの場合、電源を切った後もモーターは惰性でしばらく回り続けますので注意してください。）
7. 人身事故防止のため、修理、調整した結果、正常に操作できない場合は直ちに操作を中止し、当社または販売店に連絡し、修理依頼してください。
8. 人身事故防止のため、ヒューズが切れた時は、必ず電源を切り、ヒューズ切れの原因を取り除いてから、同一容量のヒューズと交換してください。
9. モーターの火災事故防止のため、ファンの通気口の清掃および配線周りの点検を定期的に行ってください。

使用環境

1. 誤動作による事故防止のため、高周波ウェルダなど強いノイズ源（電磁波）から影響を受けない環境下で使用してください。
2. 誤動作による事故防止のため、定格電圧 $\pm 10\%$ を超えるところでは使用しないでください。
3. 誤動作による事故防止のため、エアシリンダーなどの空気圧を使用している装置は、指定の圧力を確認してから使用してください。
4. 安全にお使いいただくために、下記の環境下でお使いください。
動作時 雰囲気温度 $5^{\circ}\text{C} \sim 35^{\circ}\text{C}$
動作時 相対湿度 $35\% \sim 85\%$
5. 電装部品損壊、誤動作による事故防止のため、寒いところから急に暖かいところなど環境が変わった時は結露が生じることがありますので、十分に水滴の心配がなくなってから電源を入れてください。
6. 電装部品損壊、誤動作による事故防止のため、雷が発生している時は安全のため作業をやめ、電源プラグを抜いてください。
7. 電波状態によっては、近くのテレビ、ラジオに雑音を与えることがあります。この場合には、少しミシンより離してご使用ください。
8. 「作業環境の騒音値が 85dB 以上 90dB 未満」に該当する環境にて仕事に従事する作業員に対しては、健康被害を受けないよう必要に応じ、防音保護具を使用させるなどの処置をお取りください。また、「作業環境の騒音値が 90dB 以上」に該当する環境にて仕事に従事する作業員に対しては、健康被害を受けないよう必ず防音保護具を使用させるとともに、防音保護具の使用について作業員の見やすい場所に掲示するようお願いします。
9. 製品や梱包の廃棄、使用済みの潤滑油などの処理は、各国の法令に従って適正に行ってください。

MEB-3810N をより安全にお使いいただくための注意事項



1. 感電時による事故を防ぐため、電源を入れたままでモーター電装ボックスの蓋を開けたり、電装ボックス内の部品に触れないでください。
2. 挟み込みによる人身への損傷事故を防ぐためミシンの据付、修理、調整以外の目的でミシンを持ち上げることはおやめください。またミシンの修理、調整でミシンを持ち上げる場合は機械を熟知した保全技術者が指示範囲内で行ってください。
3. ミシンを持ち上げようとしても重くて上がらない場合はガススプリングがガス抜けなどで機能不良となっている可能性があります。
その状態でミシンを起こす作業を行うとミシンが落下して手、指、腕などを挟み大怪我をする恐れがありますので絶対におやめください。
4. 挟み込みによる人身への損傷事故を防ぐため、ミシンを起こす時・戻す時に複数人で作業することはおやめください。
5. 挟み込みによる人身への損傷事故を防ぐため起こしたミシンを手で支えて保持することはおやめください。
※ ミシンを起こす場合には必ずヒンジストッパーをロックさせ、起こした位置でミシンをしっかりと固定してください。
6. 挟み込みによる人身への損傷事故を防ぐため、ミシンを起こす時・戻す時は手前側のベッド取手以外の部分は持たないでください。
7. 挟み込みによる人身への損傷事故を防ぐためガススプリングが取り付けられていない状態でミシンを使用しないでください。
8. 布切りメスは非常に強い圧力により布地の切断を行います。
挟み込みによる人身への損傷事故を防ぐため布切りハンマー動作中に手、指を近付けることは絶対におやめください。
9. 感電事故防止のため、電源コードおよびモーターコードの電線が露出した場合は電源を切り、ミシンを使用しないでください。
10. 感電事故防止のため、電源スイッチを開ける必要のある場合は、必ず電源を切ってから作業を行ってください。



1. 人身への損傷を防ぐため、ミシンを起こした状態から元の位置に戻す時に、ガススプリングの下に、工具や部品がないことを確認した後にミシンを元の位置に戻してください。
2. 人身への損傷、ミシンの破損を防ぐため、ガススプリングのロッド部を工具や部品にて、傷をつけないようにしてください。
3. 人身への損傷を防ぐため、ガススプリングのロッド部が傷などで動きが悪くなった場合や不良と判断される場合は、すぐに交換してください。不良の判断基準は「ガススプリングの交換時期の目安」の項目を参照してください。
[JUKI 純正のガススプリング (品番: 40100390) 以外は使用しないでください。]
4. 人身への損傷、ミシンの破損を防ぐため、ミシン運転中の天秤に髪の毛、アクセサリーなど、巻き込まれる危険性のあるものを近づけることはおやめください。



1. 人身への損傷を防ぐため、ベルトカバー、指ガード、目保護カバーなど安全装置は外した状態で運転しないでください。
2. 人身への損傷を防ぐため、電源を入れる時、またはミシン運転中は針、布切りメス、下糸切りメスの付近に指を入れないでください。
3. 人身への損傷を防ぐため、ミシン運転中に針棒カバー内に指を入れないでください。
4. 人身への損傷、ミシンの破損を防ぐため、ミシンを起こす時は周囲に人や物がないことを確認してください。



注意

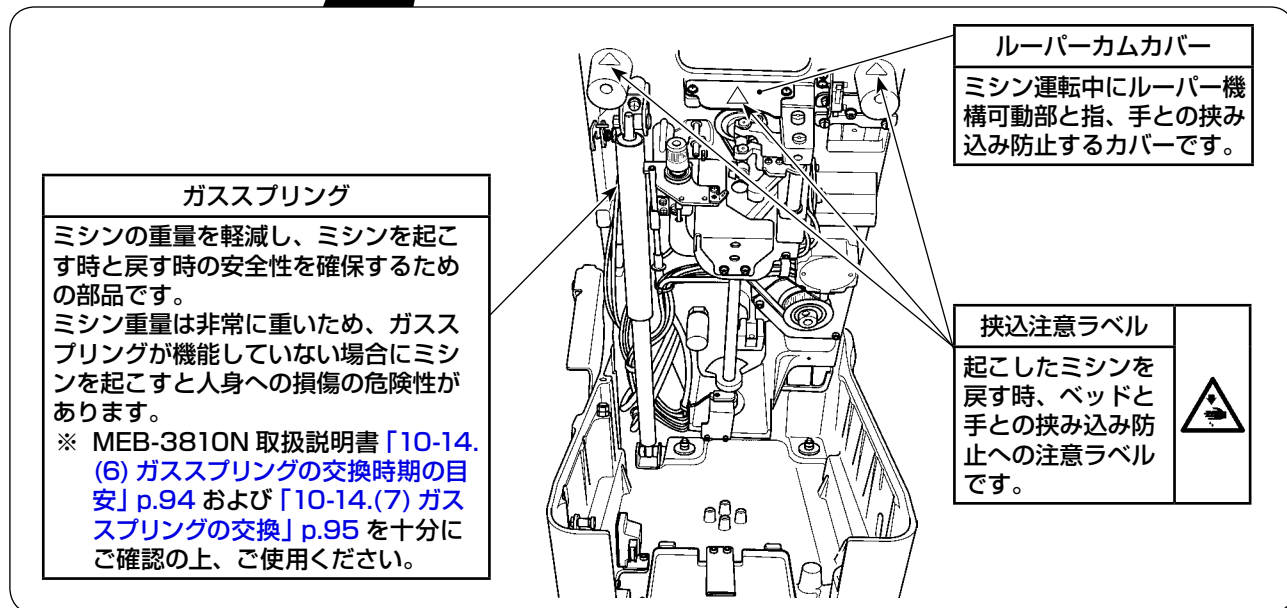
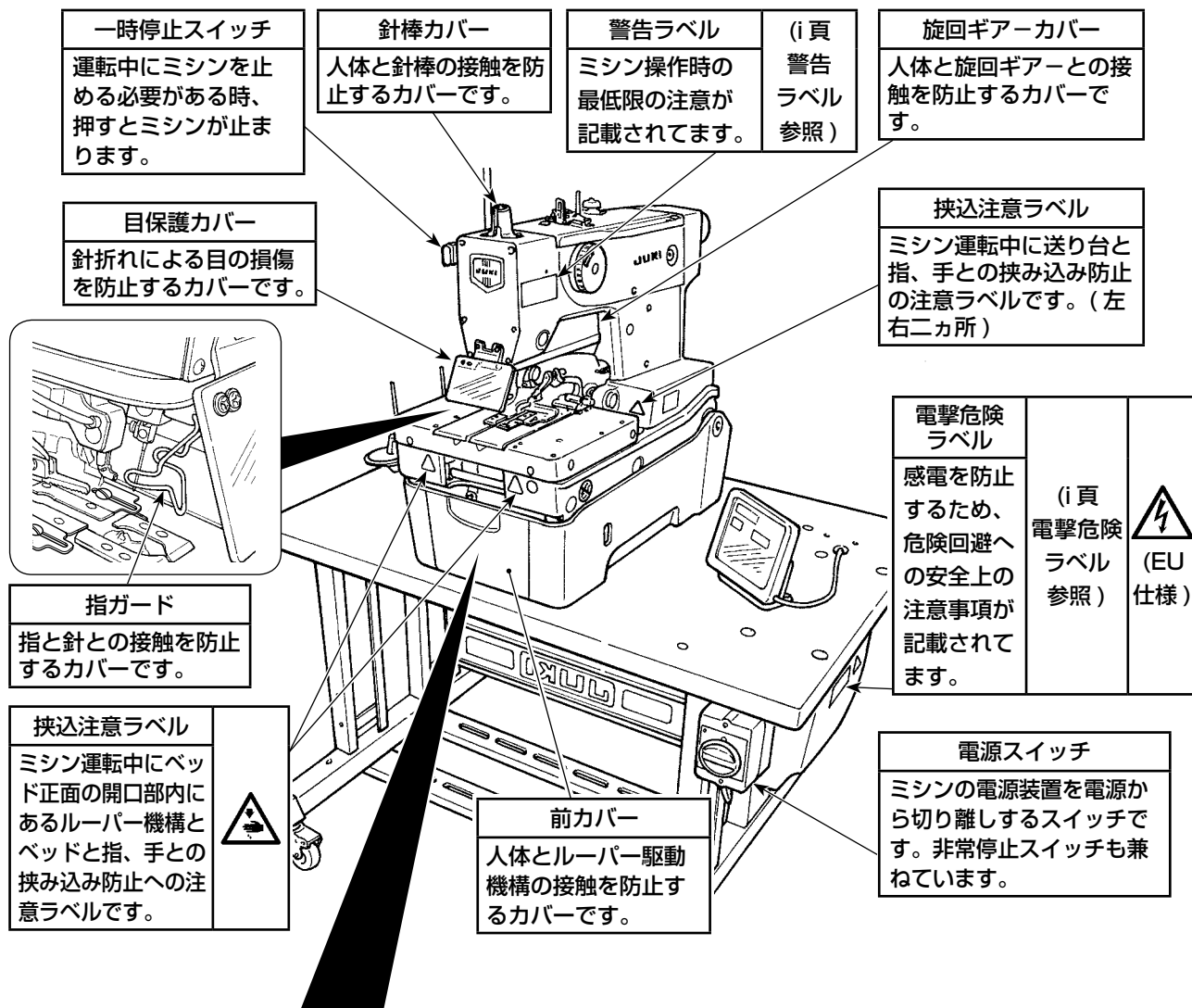
5. 人身への損傷、ミシンの破損を防ぐため、ミシンを起こした状態のままミシンを搬送しないでください。
6. 不意の起動による事故を防ぐため、ミシンを倒す時、またはカバー類を外す時は電源を切ってください。
7. ミシン停止中はモーター音がしません。不意の起動による事故を防ぐため、電源の切り忘れに注意してください。
8. 感電による事故を防ぐため、電源アース線を外した状態で、ミシンを運転しないでください。
9. 感電と電装部品損壊による事故を防ぐため、コネクタ類および電源プラグ挿抜の際は、前もって必ず電源スイッチを切ってください。
10. 本製品は精密機械のため、水や油をかけたり落下させるなどの衝撃を与えないように、取り扱いには十分注意をお願いします。
11. 人身への損傷を防ぐため、布押えが動作中に押え足に手や指を近付けることはおやめください。
12. 人身への損傷を防ぐため、ミシン運転中に糸たぐり、天秤に手や指を近づけることはおやめください。
13. 人身への損傷、ミシンの破損を防ぐため、ミシン運転中にベッド前面の開口部に手を入れることはおやめください。
14. 電磁弁からは高圧の空気が排気されます。思わぬ事故を防ぐため、ミシン運転中に電磁弁の排気口に近づくことはおやめください。
15. 視覚への損傷を防ぐため、LED ランプを直接覗き込まないようにしてください。
16. 人身への損傷を防ぐため、ミシン運転開始時、および運転中は前カバーを閉めてください。

使用上の注意



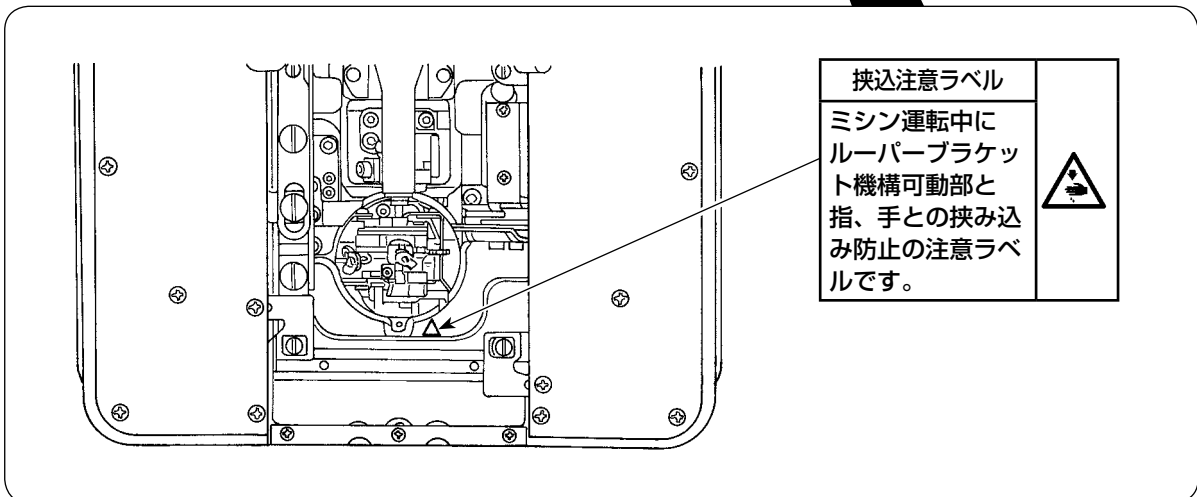
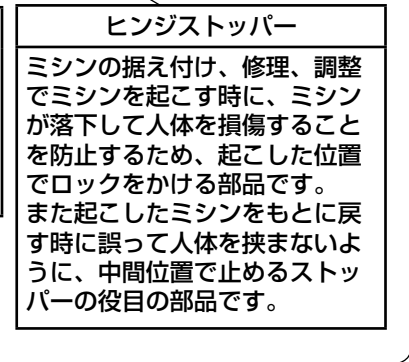
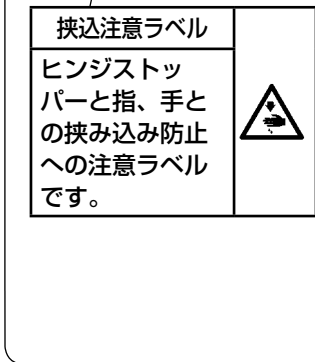
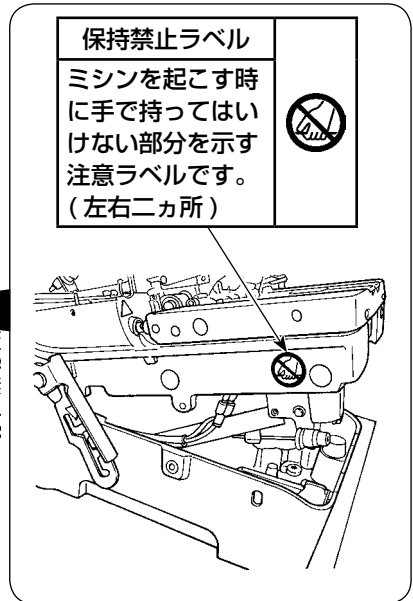
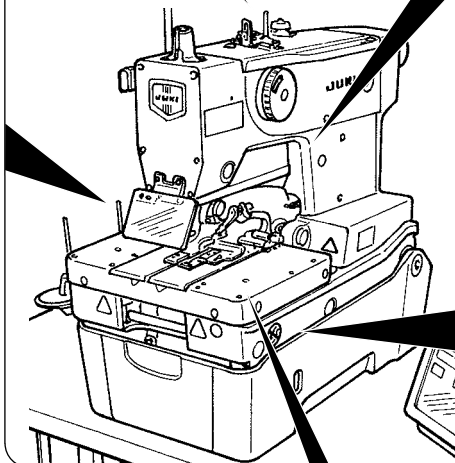
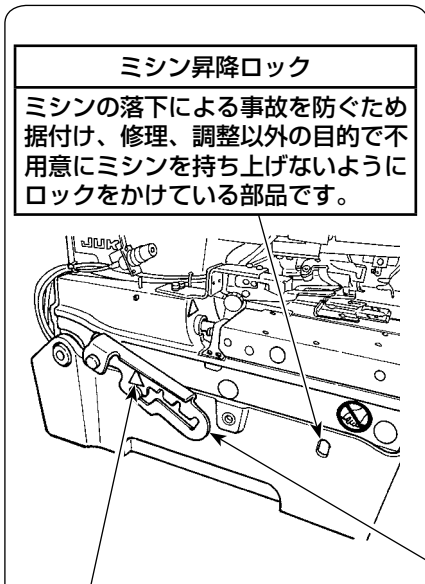
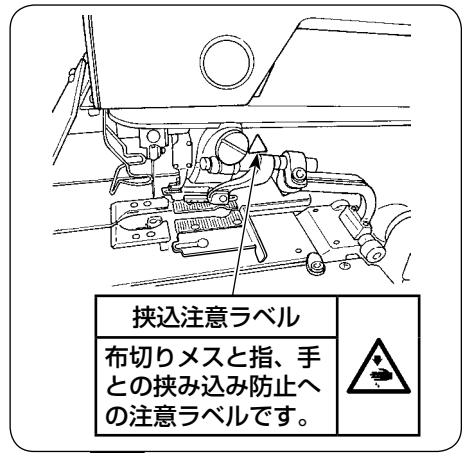
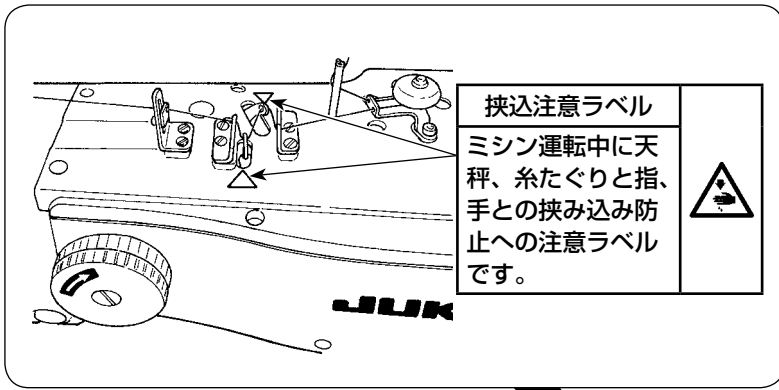
1. 頭部に油を入れないうちは、ミシンを絶対に運転しないでください。
2. 仕事が終わったら、各部についたほこりを取り除いてください。
3. ミシンの電源電圧仕様とあった電源を接続してください。
4. パターン No.90 ~ 99 には、標準のパターンがあらかじめ準備されています。縫いスピードと糸張力を変更できますが、形状の変更はできません。形状を変える時は、別のパターン番号にコピーしてそれを変更するようにしてください。
5. 電装ボックス内は常時温度の監視を行っており、温度変化により冷却用ファンが動作／停止を繰り返します。このため、ファン通気口および配線廻りの点検を定期的に行ってください。
6. 縫製生地を膝の上に積み重ねてミシン運転を行うことは送り台とベッドの間に生地がかみ込まれてミシンが動かない状態となる恐れがありますのでおやめください。
6. 縫製生地を膝の上に積み重ねてミシン運転を行うことは送り台とベッドの間に生地がかみ込まれてミシンが動かない状態となる恐れがありますのでおやめください。
7. メス腕と旋回軸が干渉し破損する恐れがありますので、メス受けを取り付けていない状態で布切りメスを動作させないでください。

安全装置と警告ラベルについて



注意

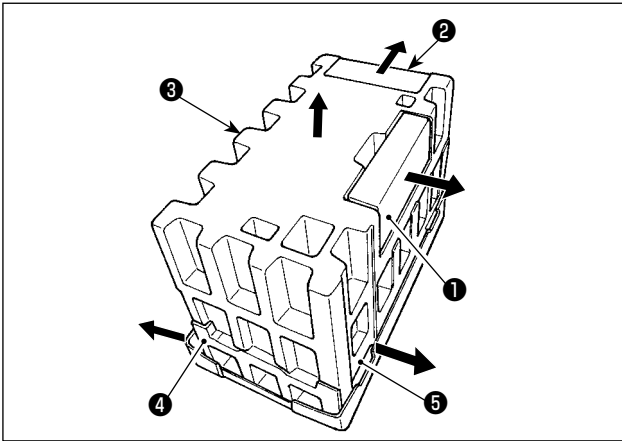
なお、本取扱説明書では説明の都合上「目保護カバー」や「指ガード」などの安全装置を省いて図示してある場合がありますので、あらかじめご了承ください。
使用にあたっては、これら安全装置を絶対に外さないでください。



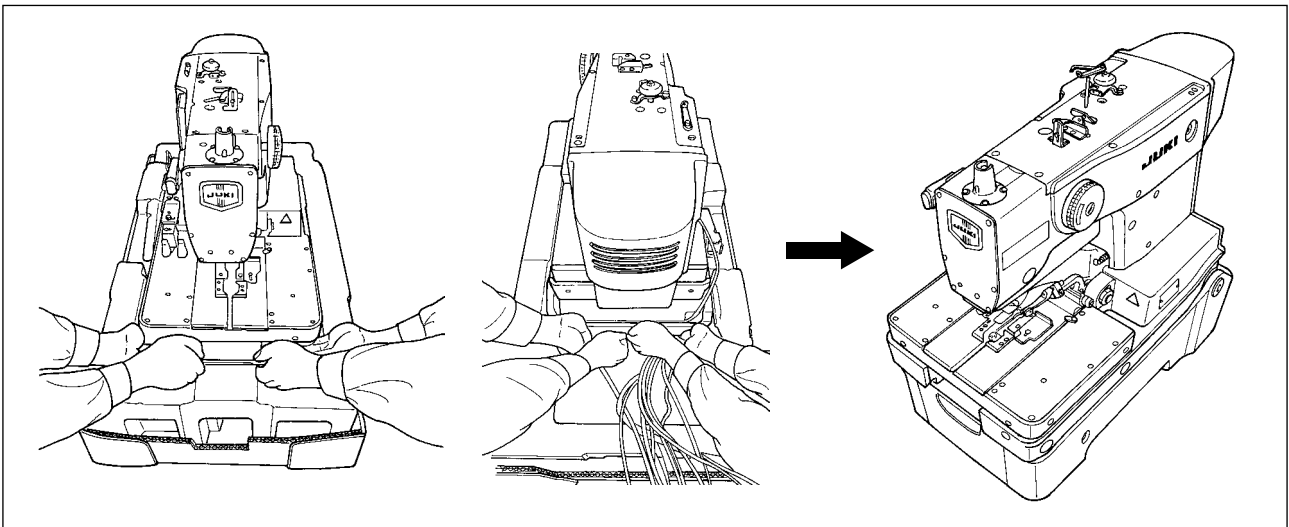
ミシンの取り出し



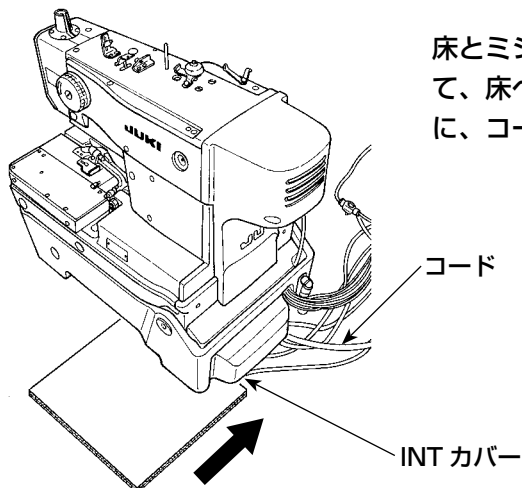
1. ミシンの取り出しは、訓練を受けた技術者が行ってください。
2. ミシンは約 110kg の質量があります。4 人以上でミシンの取り出しを行ってください。
3. ミシンを据え付けが完了するまで無理な力を加えないでください。バランスが崩れ、ミシンまたはミシンがテーブルごと転倒し、怪我またはミシンの破損の原因となります。
4. ミシンの不意の起動による事故を防ぐため、据え付けが完了するまで電源プラグを接続しないでください。



- 1) 付属品箱①と②を矢印方向に取り外します。
- 2) 上発泡③を矢印方向に取り外します。
- 3) 左右の中発泡④⑤を矢印方向に取り外します。



- 4) 4 人で図の箇所を持ち、梱包より取り出し、床に置きます。



床とミシンの間に使用しないダンボールや梱包材を敷いて、床へ傷を付けないよう、また、INT カバーと床の間に、コード類を挟み込まないようにしてください。

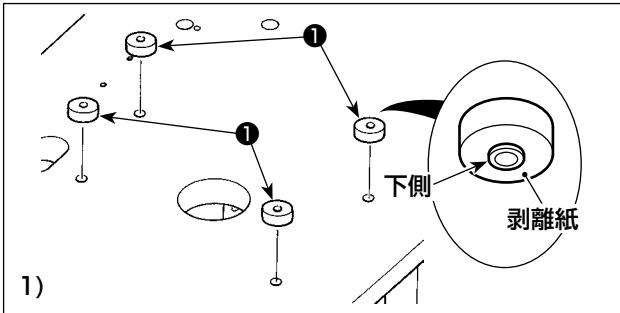
ミシンの据え付け



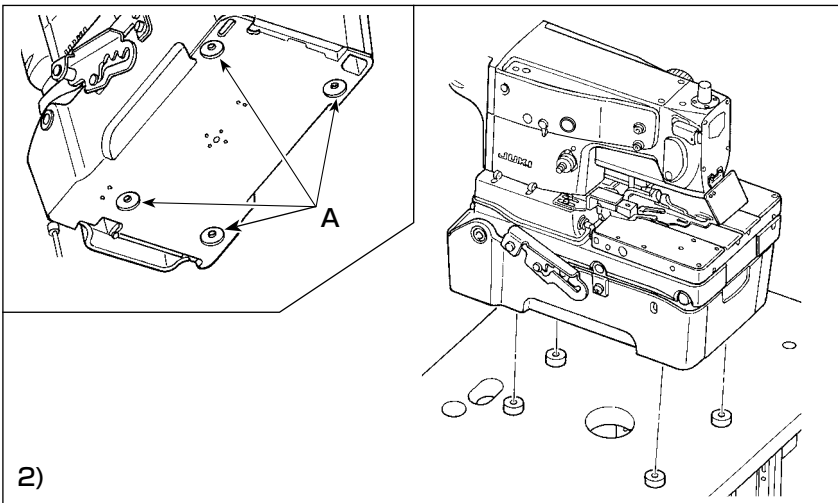
警告

ミシンを運ぶ時は、必ず4人以上で行ってください。
作業は地面が水平な場所で行ってください。

(1) 卓上仕様の場合



1) ボルトラバー B ① 4 ヶの剥離紙を取り外し、テーブルのそれぞれの穴に並べ、貼り付けます。(ボルトラバー B の凸側を下にしてください。)

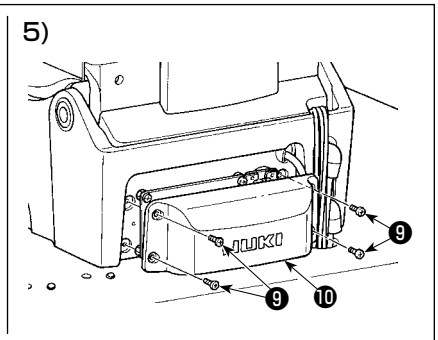
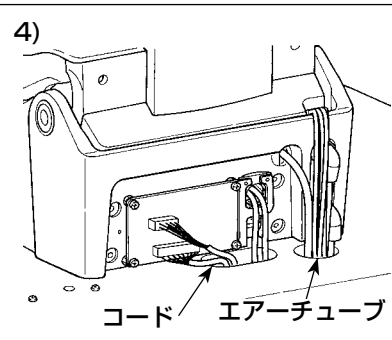
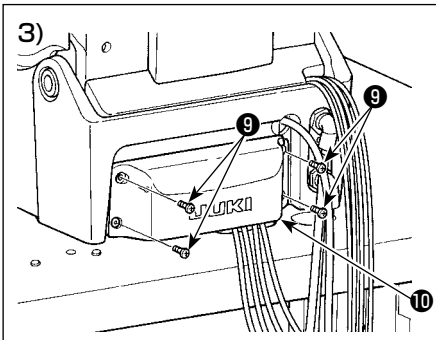


2) ボルトラバー B ① の上にボトムカバーの凹部 A が入るようにミシンをテーブル上面に載せます。

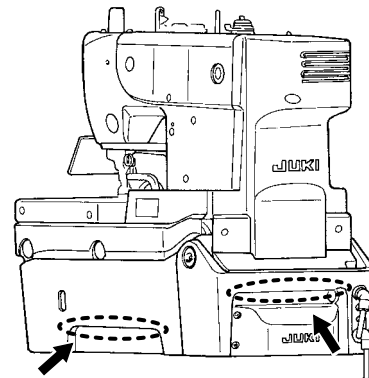
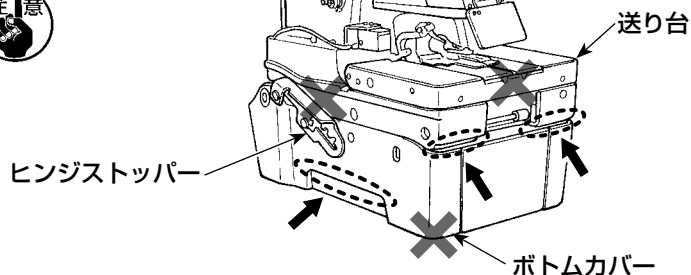
3) 止ねじ ⑨ 4 本を外し、INT カバー ⑩ を取り外します。

4) ミシン頭部から出ているエアチューブやコードを、テーブルの穴に入れます。

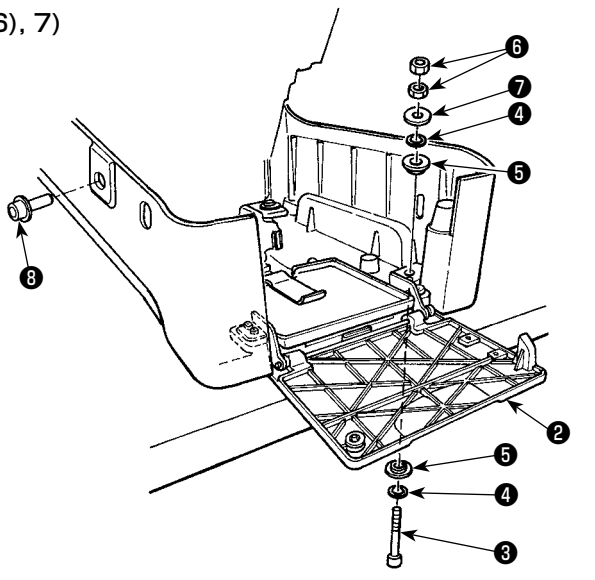
5) INT カバー ⑩ を止ねじ ⑨ 4 本で取り付けます。



1. ミシン頭部を持ち上げる時は、図の点線丸印部を持ち、4人以上で行ってください。
2. ヒンジストッパー、ボトムカバーの底面と送り台は持たないでください。



6), 7)



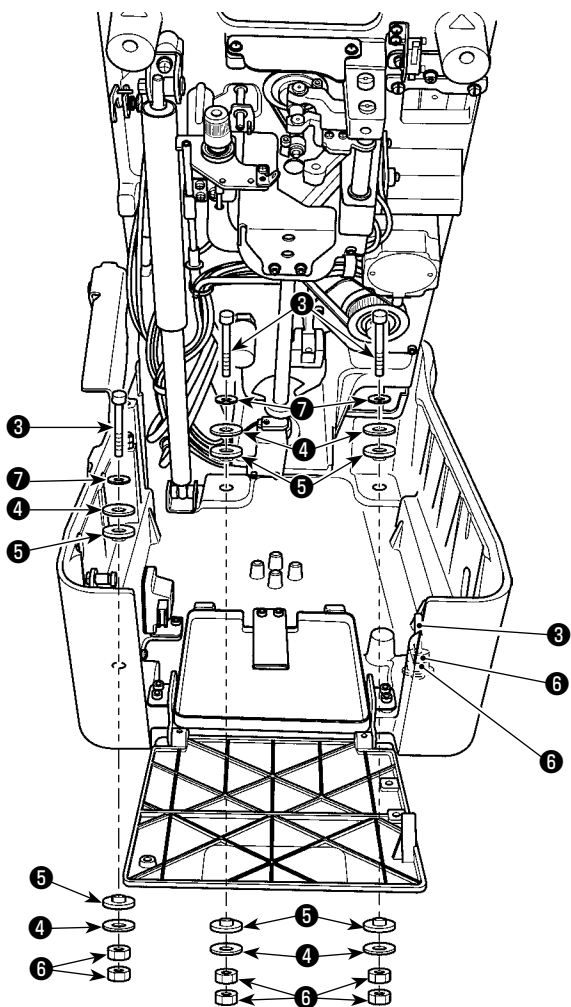
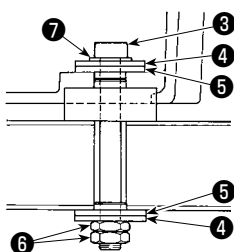
- 6) 頭部固定ボルト⑧を取り外し、ミシンをヒンジストッパーの1段目まで起こします。
ミシンを起こす際には、MEB-3810N取扱説明書「3-6. ミシンの起こし方と戻し方」p.16を参照ください。



1段目より上に上げないでください。ミシンが転倒、落下して、怪我またはミシンの破損の原因となります。

- 7) 前カバー②を開き、ミシン右手前側にボルト③1ヶと座金④1ヶとボルトラバー⑤1ヶをテーブルの下から挿入し、ボルトラバー⑤1ヶと座金④1ヶとパッキン⑦1ヶとナット⑥2ヶで仮止めします。

8) ~ 10)



- 8) 必ずミシンを4段目まで起こして、残りのボルト③3ヶと座金④6ヶとボルトラバー⑤6ヶとパッキン⑦3ヶとナット⑥6ヶで固定します。
9) 仮止めしていたボルト③1ヶとナット⑥2ヶを取り外します。



作業中に横方向モーターの接続カバー⑨の角部に体が触れますと、思わぬ怪我をする場合がありますので、十分注意してください。

- 10) 取り外したボルト③1ヶとナット⑥2ヶを、逆に入れ替えて固定します。

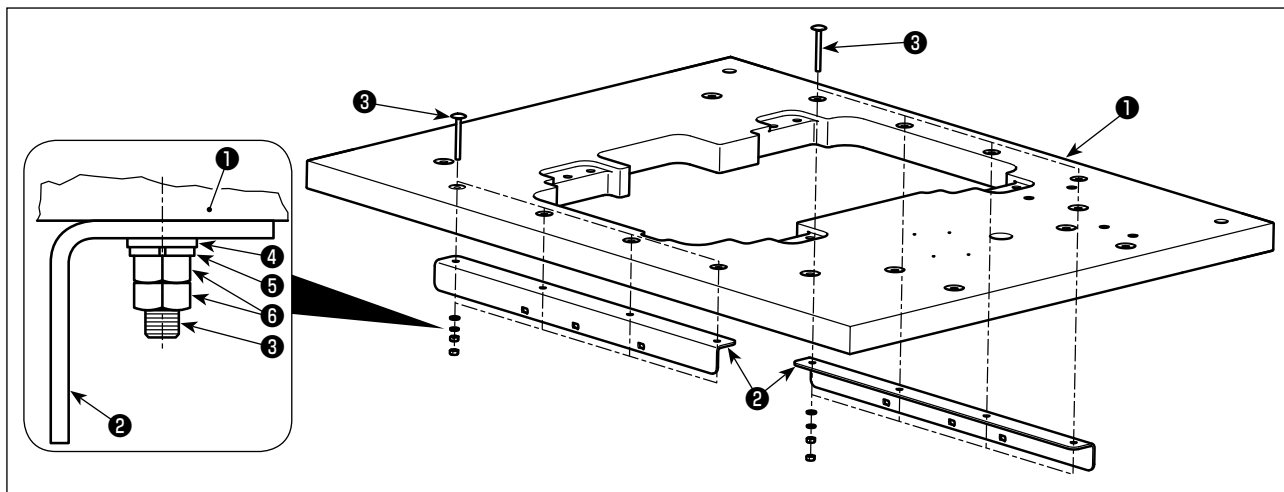


ボルト③とナット⑥は、ボルトラバー⑤が軽くつぶれる程度で固定してください。



1. 頭部固定ボルト⑧は、ミシンを移動させる時に必要となりますので保管してください。ミシンを移動の際には、必ず取り付けてください。
2. ボルト⑧は、六角穴付きボルトM8長さ85、ナット⑥はM8です。

(2) 半沈仕様の場合



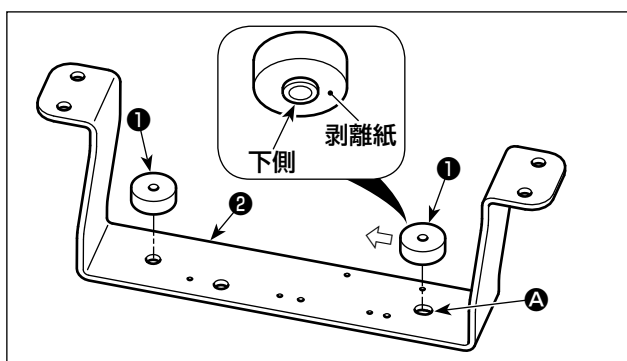
① テーブル補強板の取り付け

- 1) テーブル①にテーブル補強板② 2 ヶをボルト③ 8 ヶ, 平座金④ 8 ヶ, ばね座金⑤ 8 ヶ, ナット⑥ 16 ヶで固定します。



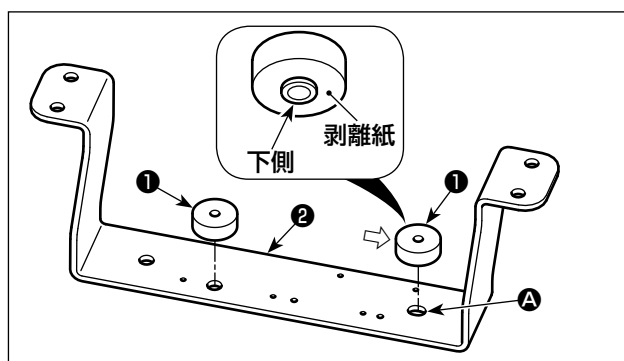
ボルト③は角根ボルト M6 長さ 60、平座金④は $\phi 12.5 \times \phi 6.4 \times t 1.6$ 、ばね座金⑤は M6 用、ナット⑥は M6 (1 種) です。

ボルト③, 平座金④, ばね座金⑤, ナット⑥は、半沈用キット (品番 40157881) 同梱品です。



② ボトムカバーステー (前) の組み付け

- 1) ボルトラバー B ① 2 ヶの剥離紙③を取り外し、ボトムカバーステー②に貼り付けます。
 ※ 右側のボルトラバー B ①は、ボトムカバーステー②の長穴 A に対し左側 (矢印方向) に寄せて貼り付けます。



③ ボトムカバーステー (後) の組み付け

- 1) ボルトラバー B ① 2 ヶの剥離紙③を取り外し、ボトムカバーステー②に貼り付けます。
 ※ 右側のボルトラバー B ①は、ボトムカバーステー②の長穴 A に対し右側 (矢印方向) に寄せて貼り付けます。

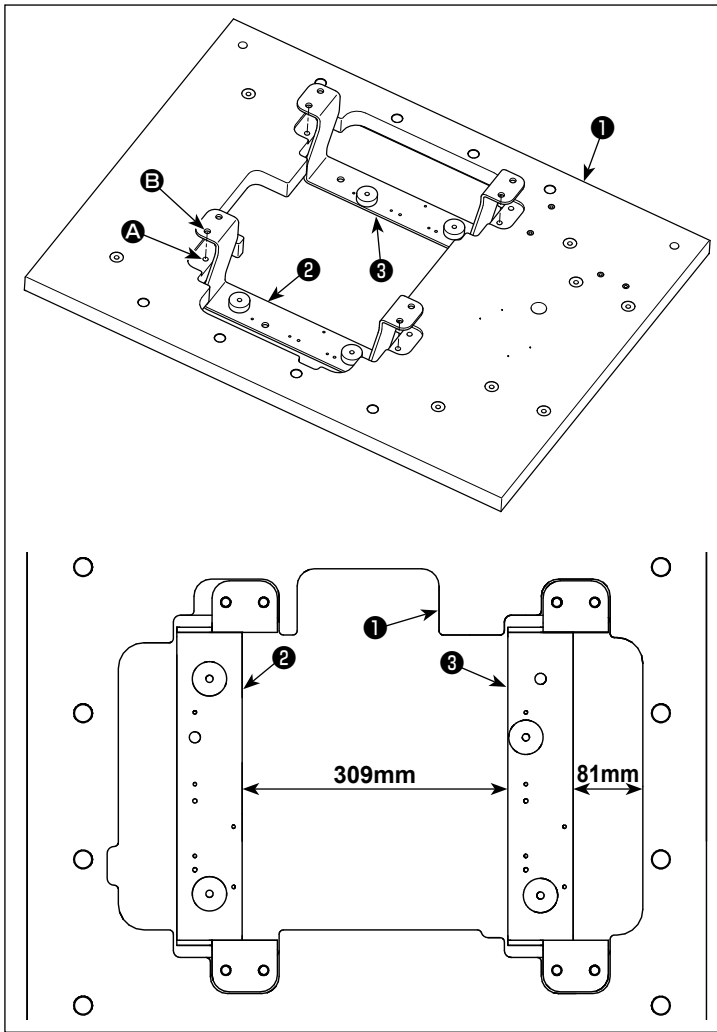


1. ボルトラバー B ①の凸部を下側にして、ボトムカバーステー②のそれぞれの穴に入れてください。

2. 左側のボルトラバー B ①の取付穴位置に注意してください。



ボルトラバー B ①は、頭部付属品です。また、ボトムカバーステー②は、半沈用キット (品番: 40157881) 同梱品です。

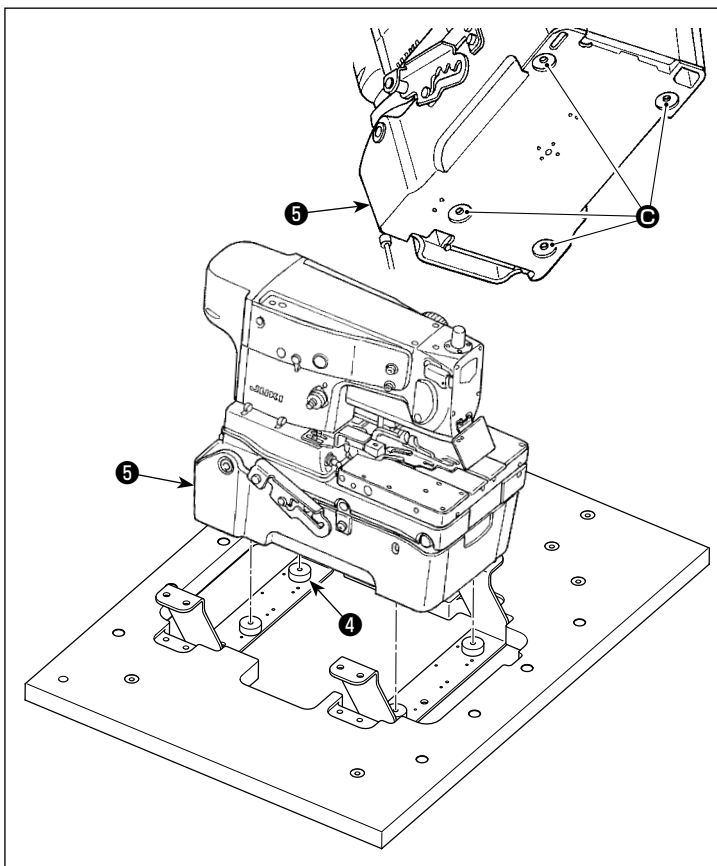


④ 据え付け

- 1) テーブル①, ボトムカバーステー（前）②, ボトムカバーステー（後）③を床に置きます。
- 2) テーブル①のボトムカバーステー取付穴 A と各ボトムカバーステーの取付穴 B を一致させます。

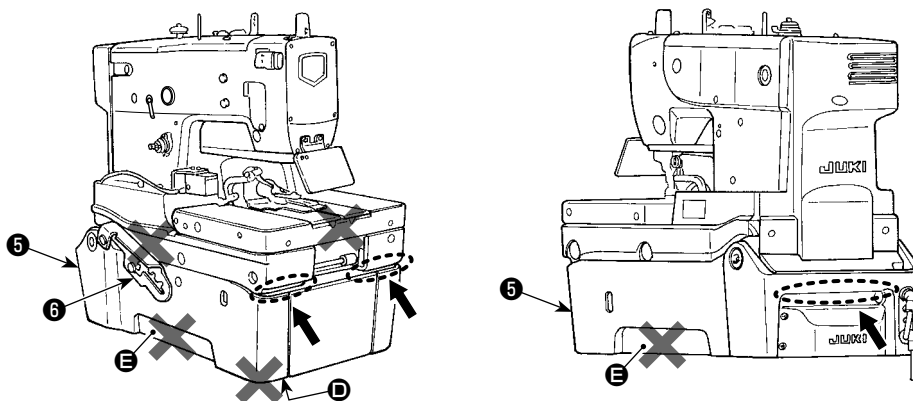


この時、ボトムカバーステー間の距離は 309mm、ボトムカバーステー（後）③とテーブル①間の距離は 81mm となります。

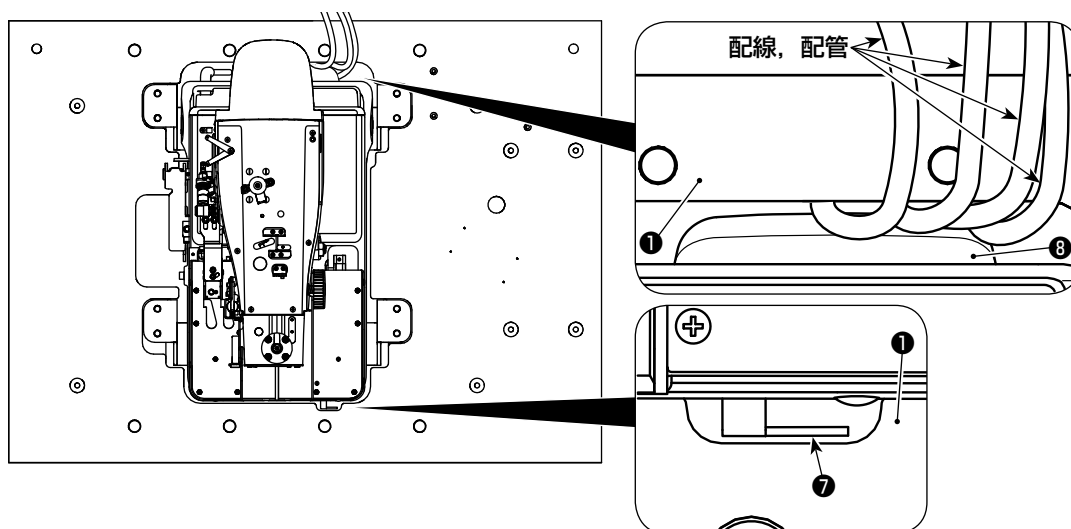


- 3) ミシン頭部をボトムカバーステーに載せます。
この時、ボルトラバー B ④がボトムカバー⑤の凹部 C に入るようにミシン頭部を載せます。

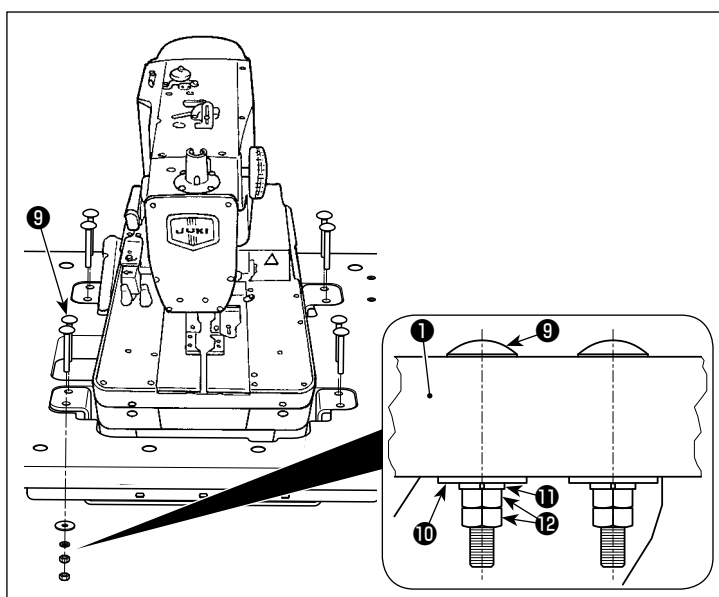
1. ミシン頭部を持ち上げる時は、図の点線丸印部を持ち、4人以上で行ってください。
2. ヒンジストッパー⑥、ボトムカバー⑤の底面④と側面の凹部③は持たないでください。



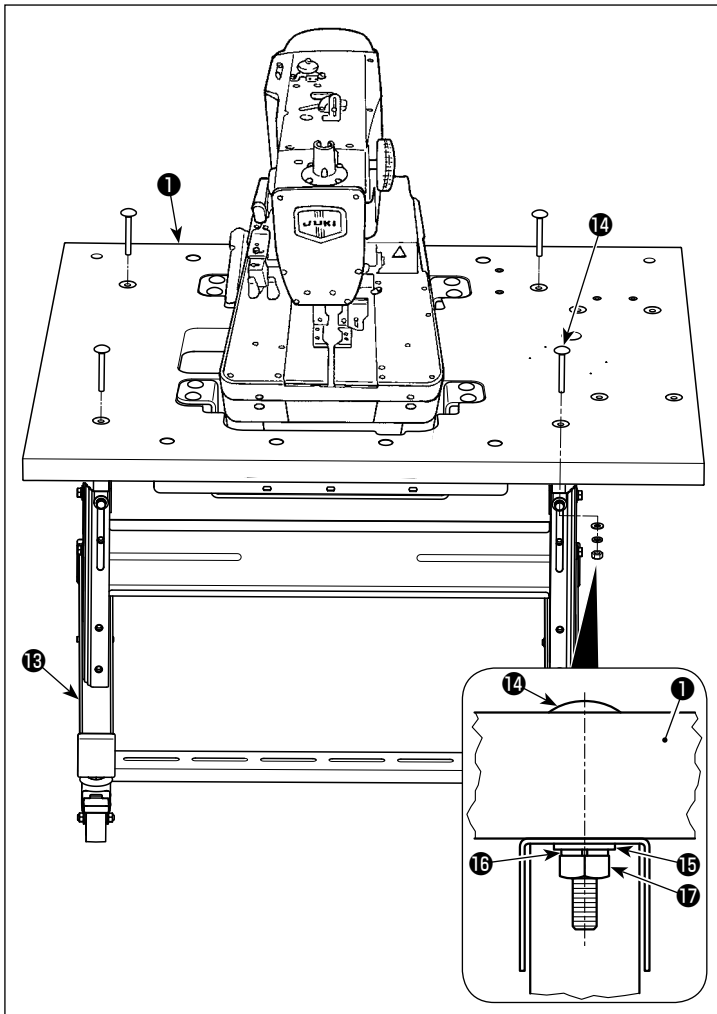
3. ミシン頭部を載せる際、ハンドル⑦、INTカバー⑧をテーブル①に当てないようにしてください。また、INTカバー⑧とテーブル①の間に、配線や配管を挟まないように注意してください。



- 4) テーブル①を持ち上げ、テーブル①とボトムカバーステー（前）②、ボトムカバーステー（後）③をボルト⑨ 8ヶ、平座金⑩ 8ヶ、ばね座金⑪ 8ヶ、ナット⑫ 16ヶで固定します。



ボルト⑨は角根ボルト M8 長さ 70、平座金⑩は、 $\phi 30 \times \phi 8.5 \times t2$ 、ばね座金⑪は M8 用、ナット⑫は M8 (1 種) です。
ボルト⑨、平座金⑩、ばね座金⑪、ナット⑫は、半沈用キット (品番: 40157881) 同梱品です。



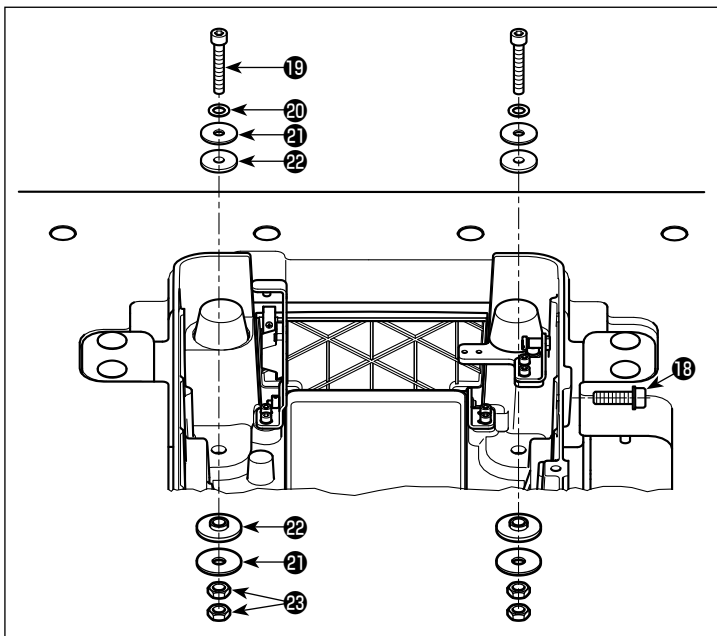
- 5) テーブル①の4隅を4人以上で持ち、組み立てた脚⑬に載せて、ボルト⑭4ヶ、平座金⑮4ヶ、ばね座金⑯4ヶ、ナット⑰4ヶで固定します。



1. テーブル①を持ち上げる時は、必ず4人以上で行ってください。
2. テーブル①は傾けず、水平に持ち上げてください。



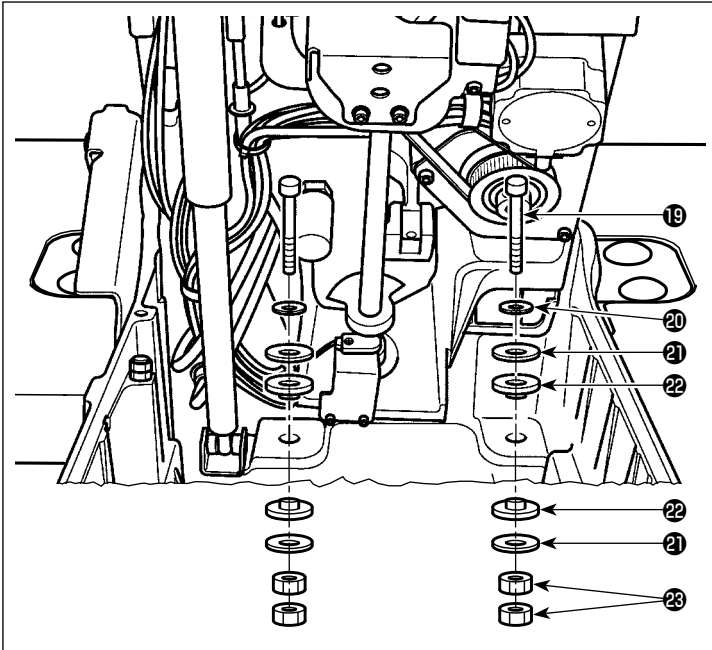
ボルト⑭は角根ボルト 5/16 山 18 長さ 70、平座金⑮は $\phi 18 \times \phi 8.5 \times t1.6$ 、ばね座金⑯は $\phi 15 \times \phi 9 \times t2$ 、ナット⑰は 5/16 山 18 です。
ボルト⑭、平座金⑮、ばね座金⑯、ナット⑰は、頭部付属品です。



- 6) 頭部固定ボルト⑬を取り外し、ミシンをヒンジストッパーの3段目まで起こします。
ミシンを起こす際には、MEB-3810N 取扱説明書「3-6. ミシンの起こし方と戻し方」p.16を参照ください。
- 7) ミシン手前側2ヶ所にボルト⑱2ヶ、パッキン⑲2ヶ、平座金⑲4ヶ、ボルトラバー⑲4ヶ、ナット⑲4ヶで固定します。



ボルト⑱とナット⑲は、ボルトラバー⑲が軽くつぶれる程度で固定してください。



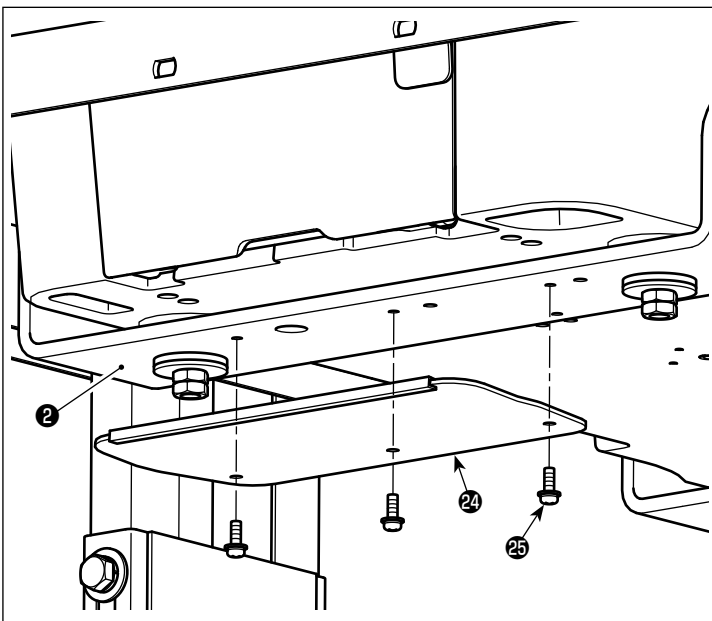
- 8) ミシンをヒンジストッパーの4段目まで起こします。
ミシンを起こす際には、MEB-3810N 取扱説明書「3-6. ミシンの起こし方と戻し方」p.16を参照ください。
- 9) ミシン奥前側2ヶ所にボルト①9 2ヶ、パッキン②0 2ヶ、平座金③1 4ヶ、ボルトラバー④2 4ヶ、ナット⑤3 4ヶで固定します。



ボルト①9とナット⑤3は、ボルトラバー④2が軽くつぶれる程度で固定してください。



1. 頭部固定ボルト①9は、ミシンを移動させる時に必要となりますので保管してください。ミシンを移動の際には、必ず取り付けてください。
2. ボルト①9は六角穴付きボルト M8 長さ 50、平座金③1は $\phi 30 \times \phi 8.5 \times t2$ 、ナット⑤3は M8 (3種) です。
ボルト①9、パッキン②0、平座金③1、ボルトラバー④2、ナット⑤3は、頭部付属品です。



- 10) ボトムカバーステー(前)②にトレー④24を止めねじ⑤25 3ヶで固定します。



止めねじ⑤25は、座金付きなべ小ねじ M4 長さ 12 です。
トレー④24、止めねじ⑤25は、半沈用キット(品番: 40157881)同梱品です。